

水しぶき雄大

座間味、クジラ観察最盛

座間味村近海のホエールウォッチングが最盛期を迎えている。27日午後、同村沖合では、体長約13歳のザトウクジラが大きな水しぶきを上げて泳ぐ姿が見られた。クジラを一目見ようと座間味港から出港した観客は、水中から現れる巨体に歓声を上げた。



ザトウクジラは例年12月末から4月初旬に出産、子育て、交尾のため沖繩の海に来る。求愛のシャンプ

(ブリーチ)や水面に胴体をたたきつける(ヘダングルスラップ)といった派手な行動が見もの。

高藤彰さん(61)と政江さん(63)夫妻は茨城県。「船の真下にクジラが見られて感激した」と口をそろえた。

同村ホエールウォッチング協会の大坪弘和事務局長は「これから2週間は、クジラが多く見られるポイントがたくさんある」と話した。



勢いよく胴体を水面にたたきつける「ヘダングルスラップ」を見せるザトウクジラ。27日午後、座間味村沖合(金良孝矢撮影)